

相談支援部会・障がい児部会からの意見

【他部会からの意見も踏まえグループワークで主に検討したい事項】

※現状、年表に反映していない事項になります。

【全体】

- 各表の上段に「大きな出来事」と記載しているが、「大きな節目」とするのはどうか。
- 「親が亡くなる」という表記について、もう少し柔らかくできないかと感じた。「親なき後を考える時期」はどうか。ただ、そう表現すると、「大きな出来事」という括りなので表現を調整する必要があると思う。

※【肢体不自由】のみ「親亡き後の生活」という表現になっている。

【知的】

- ライフステージごとの生活のイメージ→「老後の過ごし方を考える」が【70歳～】になっているが、【50代～】でもよいのではないかと感じた。

※上段の「大きな出来事」にも影響あり。

【肢体不自由】

- 「障がいの状態により、障がい福祉でのサービス、高齢者介護サービスを併せた支援の検討」をもっと強調した方がいいのではないか。
- 65歳の壁についてもっと強調した方がいいのでは。また、全年表にその内容を入れた方がいいのでは。
- 経済面の「年金申請は事前に予約」を他の年表にも入れてはどうか。

【知的】【肢体不自由】

- 「本人口座の作成」の近くに理由を書いた方がいい。

【高次脳】

- 【高次脳】のみ、「大きな出来事」の欄に「親が亡くなる」等記載がないが、親亡き後を考え、年表にも入れた方がいいか。

【精神】

- 前回の当事者部会の際、委員から、「作業所について JHC 以外にも機関を入れてほしい。」という意見があったため、相談窓口に「サンライズ高島平」を入れたが、他の相談窓口は区の機関がメインなので、なくてもいいのでは。

【発達】

- 【発達】の年表に記載されている「ライフステージごとの課題」について、ネガティブな表現は避け、【知的】の年表の「ライフステージごとの生活のイメージ」や、【聴覚】の年表の「言語やコミュニケーション手段の獲得」のように、その時期に大事にしたい経験や、必要なスキルを示す形式にしてはどうか。書き入れる項目として、「生活リズムの確立」、「自分に合った学習方法の習得」、「相談先の確保」などはどうか。